

ラジオカー取材から見た宮城の現状 ～被災者の自立と住居問題～

東北放送株式会社
技術局メディア開発部 吉田信也
Twitter ID @TBCyoshida

3. 11以降のTBCラジオの取り組み

■発生直後から10日間24時間体制で放送

- ・救援要請、個人の安否確認情報 → 県警本部へ救援要請
- ・学校、病院、施設の無事情報
- ・ライフライン、生活関連情報

■その後もワイド番組等で震災情報中心の放送を継続

- ・ラジオカー中継で被災地の現状や被災者の声を放送

1. 沿岸部で津波被害を受けた方の声

■南三陸町から登米町に避難している方の声(7/7取材)



7月7日
登米市登米町 登米公民館

1. 沿岸部で津波被害を受けた方の声

■南三陸町から登米町に避難している方の声(7/7取材)

・津波により自宅が流出、仕事も解雇

「住む場所が決まらないと仕事も決められない」

「もう避難所生活が4か月になる」

「早く仮設住宅に入って仕事を探して働かなきゃならない」

「抽選に外れると、仮設住宅への入居が延びる」

→ 自立するためには仕事(資金)が必要

→ 仕事をするためには定住先が必要

2. 内陸部で家屋倒壊被害を受けた方の声(1)

■ 宮城野区岩切の自宅庭に建てたプレハブに住む方の声(6/29取材)

- ・地震により自宅が全壊
- ・民間賃貸の仮設住宅へ入居できたものの6人家族(息子夫婦と孫2人)に8畳1Kでは狭く、自宅庭に無償で建ててもらったプレハブに夫婦2人で生活
- ・震災の影響で息子が失業
- ・孫が小学校に入学したばかり



「自宅を解体して再建するまでの間は、庭で生活するしかない」

「息子の仕事が見つかれば、何とか希望がもてるのだが…」

2. 内陸部で家屋倒壊被害を受けた方の声(2)

■ 宮城野区岩切から田子市民センターに避難している方の声(6/13取材)

- ・地震により自宅が大規模半壊
- ・同じような被害を受けた方が多く、近くの賃貸物件(借上げ仮設住宅)は満室



「家が倒壊の恐れがあるため戻るに戻れない」

「近くに仮設住宅がなく、学区変更を考えると避難所を動くに動けない」

「受験を控えており、学区が変わらない場所を探しているが見つからない」

→お子さんを持つ家庭では「学区」や「受験勉強」などが大きな障壁になって、簡単には仮設住宅に入居できない。

3. 仮設住宅に入居できた方の声

■名取市閑上から箱塚桜仮設住宅に入居した方の声(7/12取材)

「集会所のお茶のみ会で、みんなと冗談を言えるようになった」

「心配事は尽きないが皆と一緒になので楽しい」



■あすと長町仮設住宅に入居した方の声(7/13取材)

「この限られた空間に来たのも何かの縁。

その縁を大切にしてお互いに仲良く暮らしていきたい」

「この仮設住宅に暮らす人たちでお祭りを開きたい」

「今後については…2年間の中でゆっくり考えたい」



4. データで見る宮城県内被災者の状況(1)

		5月25日現在	7月20日現在
県内の避難所数		392	278
内訳	仙台市	19	7
	石巻市	100	77
	気仙沼市	59	39
	東松島市	44	29
	亘理町	5	1
	山元町	6	3
	女川町	14	11
	南三陸町	33	22

→沿岸部でも県南部は平野のため仮設住宅を建設する土地が確保できる

→沿岸部でも県北部はリアス式のため建設用地が確保しにくい

4. データで見る宮城県内被災者の状況(2)

		5月25日現在			7月20日現在		
県内の避難者数		同市町村	他市町村	他県へ	同市町村	他市町村	他県へ
		24,866	2,748	1,198	10,110	1,796	7,142
内訳	仙台市	1,703	1	351	77	0	1,787
	石巻市	7,580	246	324	4,128	242	1,755
	気仙沼市	4,028	0	55	1,815	65	1,343
	東松島市	2,190	468	61	717	163	342
	亘理町	827	27	40	13	27	161
	山元町	863	163	18	193	141	180
	女川町	1,464	81	61	681	119	322
	南三陸町	4,029	1,749	59	2,252	1,027	352

→県北部の沿岸部では、まだまだ避難所生活者が多い
 →仕事と住居を求めて県外に避難する方が増えている

4. データで見る宮城県内被災者の状況(3)

仮設住宅の入居状況【仙台市 7月15日現在】

プレハブ住宅	着工 1,523戸	完成 1,505戸	入居決定 833戸 (7/19最終〆切)
借上民間賃貸	申込 8,102戸		入居決定 6,387戸 (6/10最終〆切)
公務員住宅等	供給 654戸		入居決定 174戸

仮設住宅の入居状況【石巻市 7月1日現在】

プレハブ住宅	着工 5,444戸 7/20 6,309戸	完成 3,768戸 7/20 4,597戸	入居決定 2,452戸 (6/25最終〆切) ※入居可能戸数は3,029戸
借上民間賃貸	公表数字なし		

仮設住宅の入居状況【気仙沼市 7月20日現在】

プレハブ住宅	着工 2,615戸	完成 2,128戸	公表数字なし (申込受付中)
借上民間賃貸	公表数字なし		

5. 課題～自立への障壁

- 家族構成や家庭環境によって被災者の状況は様々
- 家屋を修理しようにも資材や工務店の対応が追い付かない
 - ・ 自宅を修理補修して住める場合は仮設に入居できない。
- 仮設住宅に入居できても2年間で限度
- 建築制限、法律(農地法、消防法、建築基準法)の壁
 - ・ 店舗や工場を修理しても、制限エリア内の場合は移転の可能性あり
 - ・ 店舗や工場を別な場所に再建しようにも、簡単に建設出来ない
 - 雇用が生まれない。雇用の無いところには戻りにくい

6. その他～生活環境

- 避難所生活者の状況
 - ・ 特に沿岸部は衛生面の悪さ、食事面の偏り、衣類など物資も不足。
 - ・ プライベートな空間は無いが、避難所スタッフや避難者同士のコミュニティがあり孤独感は少ない。
- 仮設住宅生活者の状況
 - ・ 元々居住していた地区ごと移住している場合は、自治会等が発足しているが、様々な地区から移住している仮設住宅ではコミュニティが希薄。
 - ・ 高齢者のみ世帯や障害者世帯等を優先して入居させているため、入居後のケアが重要。
 - ・ 集会所が未だに利用されていない仮設住宅もある。



震災復興キャンペーン「TBC絆みやぎ」

■絆みやぎ ホームページ

<http://www.tbc-sendai.co.jp/kizuna/index.html>

■YouTube 絆みやぎチャンネル

<http://www.youtube.com/KizunaMiyagi>

■TBC夏まつり

<http://tbcfes.jp/>

・7/23(土)～24(日) 仙台市勾当台公園、石巻専修大学で開催